

ふれあい 茨城

CONTENTS

- 1 **協会事業**
茨城県留学生親善大使任命式を行いました
- 2-3 **GLOBAL VIEW**
世界を知り、身近に考える 外国人に聞きました
- 交流の広場**
- 4-5 **Young Eyes/八千代町役場まちづくり推進課**
Across Culture
- 地球だより**
- 6 **奇跡の国 ルワンダ**
- 県だより**
- 台湾で茨城県の食と観光をPRする大規模プロモーションを実施しています!
- 7 **For You** お知らせ
- 8 **Said & Did**

茨城県留学生親善大使任命式を行いました



茨城県留学生親善大使任命式



交流会

茨城県国際交流協会では、国際交流活動に意欲のある県内の留学生を「茨城県留学生親善大使」として任命し、「ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業」を中心に積極的に参加していただいています。今年度は6月25日(土)に任命式を行い、新たに38名を任命し、以前からの活動者とあわせ、17の国と地域から総勢53名が親善大使として活動することになりました。

なお、今年度は日本学生支援機構留学生地域交流事業の一環で国際交流活動等に意欲のある都内留学生を新たに「いばらき応援大使」として、6ヶ国6名を任命しました。

任命された大使は「親善大使の活動を通じて、もっと多くの人と交流したい」、「自分の国の文化を紹介したり、他の国の文化を積極的に受け入れたりすることで、国際文化交流を促進したい」など、それぞれ夢を語ってくれました。



学校教育や生涯学習の場で外国の方と楽しく交流して、身近に国際理解を深めてみませんか。茨城県留学生親善大使は、児童・生徒や地域の方々と直接交流できる日を楽しみにしています。随時派遣先を募集しておりますので、当協会までお気軽にお問合せください。

ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業▶



任命証の授与

ホームページが新しくなりました

茨城県国際交流協会では、このたび、多くの方々に茨城県国際交流協会の概要や魅力を知っていただけるようサイトをリニューアルしました。日本語サイトのほか、外国人の方向けに10の多言語サイト(平易な日本語・英語・ポルトガル語・中国語・タイ語・タガログ語・スペイン語・韓国語・インドネシア語・ベトナム語)を作り、目的や言語が異なる利用者にとって使いやすいようにコンテンツを一新しました。今後は、より有益な情報を充実させ多文化共生のポータルサイトを目指していきますので、ぜひご覧ください。



日本語ページ



多言語ページ





GlobalView



特集 ▶ 世界を知り、身近に考える 外国人に聞きました

コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻、多発する自然災害など、辛いニュースが多く目につきます。命の安心・安全、平和な世界を切に願います。

さて、日本に住む外国人の皆さんは、母国と日本それぞれの感覚がもてる立場です。どんな社会的課題に関心を寄せているのでしょうか？母国を離れ茨城で勉強している留学生*に聞きました。

*当協会が任命した茨城県留学生親善大使。地域国際交流への参加や本県の魅力発見に意欲ある県内教育機関に在籍する留学生。

主な質問内容 ▶ ①日本への留学理由と将来の夢 ②気になる自然災害や社会問題



チン テク チングさん

マレーシア出身
茨城大学生
(専攻:物質科学工学)



留学先に日本を選んだ理由

私が日本の大学に進学した理由は、日本はアジアだけではなく、世界中から経済が発展した国として知られているからです。また、科学技術や教育の質が高い国として有名です。特に、水素エネルギーの国家プロジェクトやJ-PARC(大強度陽子加速器施設、東海村に立地)を実施、稼働させていることは母国でも有名です。日本はアジアの国の中でノーベル賞受賞者の数が最も多く、科学研究、テクノロジー、機械、医療研究部門で世界をリードする国のひとつですので、是非この素晴らしい国で知識を学びたいと思い留学を決意しました。



私の関心事「エネルギー問題」と将来の夢

エネルギー問題は母国だけではなく世界的な問題となっています。マレーシアはエネルギー自給率が高いですが、ほとんど9割を化石燃料に頼っています。自然環境が豊かですが、再生可能エネルギーの利用があまり進んでいないことが問題です。そのため、私は茨城大学で再生可能エネルギーに関する研究に取り組んで、学んだ知識を生かしてマレーシアで活躍したいと思っています。

マレーシアと日本との文化的な違いで思うこと

マレーシア人と日本人の考え方には違いがあります。一つ目はきまりやルールについてです。一般的に日本人はどんな場面でもきまりやルールに従うことが正しいと思っています。マレーシア人は自分の目的を達成するために、時には決めたルール通りではないことがあります。ルールに従う方が良いと思いますが、場合によっては、目標をより早く、着実に達成するため、柔軟に対応することも良いのではないのでしょうか。

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに



SDGs 目標7

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する⁷

エネルギー自給率 日本12.1%¹、マレーシア105%²
発電電力量に占める再生エネルギー比率

日本18.0%¹、マレーシア4%未満³

マレーシア

面積:日本の約0.9倍⁴ / 人口:日本の約0.3倍⁵ / 貿易(マレーシアから日本へ): 鉱物性燃料等(26.7%)、電気機器(25.7%)、プラスチック・ゴム(8.0%)、精密機器(4.8%)、木材および同製品(3.6%)⁶

日本は液化天然ガス(LNG)をはじめ多くの鉱物性燃料をマレーシアから輸入しています。

全世界の温室効果ガス排出量の約60%をエネルギーが占めるといいます。エネルギー消費の節約は海外資源の採掘削減にもつながりますね。

社会規範は守られてこそ意味があるものでしょうけれども、日本にも臨機応変ということばがあるように、いつも型通りの対処ではなく、場面が変わることに最適な行動がとれるとよいですね。

1 経済産業省「日本のエネルギー」2021年度版(https://www.enecho.meti.go.jp/about/pamphlet/pdf/energy_in_japan2021.pdf) / 2 経済産業省 諸外国のエネルギー政策動向に関する調査報告書(https://www.meti.go.jp/medi_lib/report/2020FY/000447.pdf) / 3 JETRO調査レポート(<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/01/b7fda4e47ab81da4.html>) / 4 外務省 国・地域データ(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/malaysia/data.html#section1>) / 5 世界銀行オープンデータから算出(2021年)(<https://www.worldbank.org/ja/country/japan/brief/pendata>) / 6 JETRO 概況・基本統計(https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/basic_01.html) / 7 国際連合広報センター(https://www.un.org/ja/news_press/features_backrounders/31737/)



グエンゴクランチさん

ベトナム出身
筑波大学生
(専攻:教育学)



日本のアイドルグループがきっかけで

私は子供の時に日本の「嵐」という男性アイドルグループをきっかけとして、日本語と日本のことに興味を持ちはじめました。高校に入ってから、日本語学校にも通うことができ、より多くの人に出会いました。日本語コンテストに参加したり、奨学金をもらって交流生として3回日本に来たりするなど、人生を変えるほど素晴らしい経験がたくさんできました。

私が気づいた母国の課題



日本語の勉強をし、日本の高校生との文化交流プログラムに参加するなかで、私は教育が自分の価値観を広げてくれたことに感謝するとともに、教育格差や頭脳流出など、ベトナムのいくつかの教育課題に気づきました。具体的には、ベトナムでは都市部と地方の学校の格差が著しく、施設はもちろん、日本のどんな学校でも一般的とされる部活動や修学旅行なども地方ではわずかな学校に限られているのが現状です。その理由で、日本やアメリカをはじめ、海外へ留学することを目指すベトナム人学生が増えてきました。しかし、奨学金などに関する正確で十分な情報がないため、言語知識や留学先のことを何も知らないまま留学してしまう人も多くなっています。また、海外で知識を学び、国に貢献することが期待されている留学生のほとんどは、就業機会などの理由でベトナムに戻ってこないことも課題となっています。

日本語の勉強をし、日本の高校生との文化交流プログラムに参加するなかで、私は教育が自分の価値観を広げてくれたことに感謝するとともに、教育格差や頭脳流出など、ベトナムのいくつかの教育課題に気づきました。具体的には、ベトナムでは都市部と地方の学校の格差が著しく、施設はもちろん、日本のどんな学校でも一般的とされる部活動や修学旅行なども地方ではわずかな学校に限られているのが現状です。その理由で、日本やアメリカをはじめ、海外へ留学することを目指すベトナム人学生が増えてきました。しかし、奨学金などに関する正確で十分な情報がないため、言語知識や留学先のことを何も知らないまま留学してしまう人も多くなっています。また、海外で知識を学び、国に貢献することが期待されている留学生のほとんどは、就業機会などの理由でベトナムに戻ってこないことも課題となっています。

留学後は母国との懸け橋役になりたい

このようなことから、私は教育の分野に興味を持つようになりまし。現在大学で教育と社会の発展の関係、各地域の教育の比較などについて学んでおり、今後国際教育協力を通じてベトナムの教育を改善していきたいと思っています。将来、留学生支援や教育協力の分野で活躍して、私のように日本に留学したいベトナム人の中学生や高校生をサポートし、日本とベトナムの懸け橋になりたいです。



SDGs 目標4

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する⁷

ベトナム

面積：日本の約0.9倍⁸
人口：日本の約0.8倍⁵
茨城県内のベトナム人留学生数：251人⁹
(1位中国1,884人に次ぐ2位、3位は韓国138人)

日本語教育に関して、ベトナムは日本語教育機関数、教師数、学習者数のすべてで増加率が世界1位¹⁰となりました。学習者は技能実習生送り出し機関や企業内教育など学校教育以外が最も多です¹¹。学校教育では高等教育機関、中等教育機関の順に多です。「国家外国語プロジェクト」のもと、初等教育でも日本語教育が実施されています。

質の高い教育にも、優れた人材が就労機会に恵まれるためにも、それを担う「人」の存在が不可欠です。後進を助けることができる人になって、是非、母国の発展と日本との友好に寄与してほしいです。

SDGsの目標は紙面の都合上関連するものからひとつだけを取り上げました。

「エネルギー問題」、「教育」の話題が出てきました。世界の様子を感じるとともに、翻って日本はどうか？あるいは日本で何かできるか？など感じたり考えたりするきっかけになったのであれば幸いです。

経済のグローバル化により、その余波が世界中を駆け巡り私たちの日常生活にも影響を与えます。世界の人々と小さな手を取り合い、大きな課題の克服につなげたいものです。

今回は若い留学生の個人的な視点でのお話でしたが、夢や希望に心が温かくなり、励まされた方も多かったのではないかと思います。



8 外務省 国・地域データをもとに算出(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/vietnam/data.html#section1>) / 9 茨城県のサイト 外国人留学生数(<https://www.pref.ibaraki.jp/bugai/kokusai/tabunka/jpn/data/index.html>) / 10 2018年度 海外日本語教育機関調査(<https://www.jpfi.go.jp/j/project/japanese/survey/result/survey18.html>) / 11 国際交流基金 日本語教育 国・地域別情報(<https://www.jpfi.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2019/vietnam.html>)

YOUNG EYES

★令和4年6月10日(金)に開催された「第59回茨城県高等学校国際教育英語スピーチコンテスト」にて、茨城県国際教育研究協議会長賞を受賞した仲柴雄貴さんにお話を伺いました。



茨城県立並木中等教育学校5年
仲柴 雄貴

国際交流・国際理解と聞いて貴方は何を考えるだろうか。「まだ中高生の私には遠くの世界の出来事」「規模が大きくて難しいもの」など、現在の自分とはあまり関わりが無いもの、または関わりたいが関われないものというイメージを私と同年代の多くの人が持っていると感じられる。

しかし、そのようなことは決してない。柔軟な思考を持っている中高生である私たちだからこそ、国際交流に積極的に参加しなければならない。この思いを込め、私は今回のスピーチコンテストに参加した。

残念なことに、現在、日本国内では中高生を対象とした海外の人と交流する場が非常に少ない。これは大きな課題である。幸いなことに、私はその数少ない機会に参加し、国際協力の重要性の認識と世界のレベルの高さを実感することが出来た。

しかし、多くの生徒はこの機会を逃したり、参加する前から諦めてしまったりしている。そのため、大人には「中高生が参加可能な国際交流の場の創設」、中高生には「海外の中高生との積極的交流」を提案する。密度の高い国際交流を体験すると、価値観や考え方が大きく変わる。これまで出会ったものとは全く異なった価値観と触れ、世界の現状を実感し、自分に隠された可能性を知ることが出来る。

私と同年代の人たちに伝えたい。成長をするためには挑戦をするしかない。国際交流は中高生だからこそ参加するべきである。語学力や技能など多くの点で心配になることはよく理解できる。しかし、その心配をどこかで乗り越えないといつまでも最初の一步を踏み出すことが出来なくなってしまう。多くのサポートを受けられ、失敗が許される中高生だからこそ、今、挑戦して欲しい。

交の 広

多文化共生社会の実現に向けて

八千代町役場まちづくり推進課

八千代町には、全町民の約6%を占める外国人の方々が住んでいます。今後も地域社会の重要な構成員として、外国人住民の方の役割はますます増していくと予想されます。

しかしながら、一方では、一部の人達による犯罪や不法滞在、行方不明者等の問題が生じていることも現実です。

そこで、当町では、外国人住民の方に地域社会の構成員として社会参画を促し、日本人との交流を深める中で、共にまちづくりに参加できる仕組みづくりを、各関係機関と協力しながら推進していくため、「八千代町多文化共生推進協議会」を発足いたしました。委員は、町民、外国人材の受入関係機関、技能実習生受入企業、多文化共生や国際交流活動関係機関・団体の代表者と教育委員会を含めた町職員で構成され、多文化共生社会の実現に向けて取り組むべき課題の共有を図ってまいります。

また、5月1日から地域おこし協力隊員として、二エケひとみさんに着任していただき、「多文化共生社会実現プロジェクト」に関する様々な活動を行っています。その一つが、日本人と外国人の町民同士の交流の場となる「にほんごおしゃべりサロン」の開設です。開設の準備として、ボランティア活動に興味がある日本人を対象に、八千代町国際交流ボランティア説明会を開催したところ、50名を超える幅広い年代の方々に参加していただきました。今後の多文化共生社会実現に向けて頼もしいかぎりです。

まだまだスタートしたばかりですが、これから八千代町は、多文化共生社会の実現に向けて様々な取り組みを展開し、国籍や民族を越えて違いを認め合い、対等な関係を築けるまちづくりを推進してまいります。



国際交流ボランティア説明会



多文化共生推進協議会

ここが違って、おもしろい!

Across culture



モンゴル

バイラルバートル マルガド
(Bayarbaatar Margad)

(モンゴル出身)
筑波大学



●モンゴルってどんな国?

モンゴルは中国とロシアに隣接する、人口約330万人の国です。国の面積は156.4万km²であり、これは日本の約4倍の広さです。日本から飛行機の直行便で5時間30分かかります。対日関係は良好で、2022年の2月に日本とモンゴルの外交関係樹立50周年を迎えました。

モンゴルは「青空の国」とも呼ばれており、365日中約270日は晴天、特に夏と冬の夜は満天の星空が楽しめます。首都、ウランバートルは標高1300mの高さに位置し、12月から1月の間の最低気温は-35~-40度です。このことから「世界で最も寒い首都」と呼ばれています。

モンゴルは遊牧文化を持つ国です。移動式住居の「ゲル」は組み立てと分解が可能です。ウ



ランバートルから少し離れた場所にはゲルで寝泊まりができるゲル・キャンプがあるので、気になった方は是非足を運んでみてください。伝統的なものからラグジュアリーなものまで、様々な形のゲルが楽しめます。旅行や観光をするなら夏の季節がおすすめです。

●日本へ来たきっかけは?

日本の大学に入学し、日本に来ました。専攻は日本語・日本文化です。主に言語学、教育学を中心に学んでいます。日本文学にも興味があり、



京都・金閣寺

大学の選択科目では直木賞作家、又吉直樹の「火花」の日本語版と英訳版との比較分析や、夏目漱石の「こころ」の心理描写についての考察を行いました。茶道や囲碁についても関心があります。お茶室の静かな空気や、対局中の緊張感はほかでは味わえません。私にとって日本は人生の一部です。

●モンゴルと日本のここが違って、おもしろい!

日本とモンゴルは物理的に距離が離れているため、歴史的背景も文化も大きく異なります。例えば日本の伝統衣装の「着物」とモンゴルの伝統衣装の「デール」は形状も着用する場面も違いますし、もっと日常的な場面をあげるなら日本は左側通行、モンゴルは右側通行です。そういった中で私が特に興味深く感じるのは亡くなった方に対する姿勢です。日本にはご先祖様が帰ってくる日、「お盆」が年に一度あります。この期間はナスとキュウリで精霊馬を作り、お墓参りをし、お菓子や飲み物をお供えすると聞きました。モンゴルには亡くなった方と一緒に祝いできる特別な日はありません。また、日本では家族で一つのお墓に入りますが、モンゴルでは家族でも別々のお墓に入ります。モンゴルの墓地は人の住む場所から遠く離れており、「静かな街」と呼ばれています。日本にいても実際に体験することのできないお盆は、私のような外国人にとって最も近くて最も遠い日です。



モンゴルの草原

●あなたの将来の目標について教えてください。

私の直近の目標は日本の大学院に進学することです。大学の卒業論文では教育、中でも遠隔教育について書きましたが、今後はそのテーマをより発展させたいと考えています。将来的には国際的に活動する教育機関で研究者として働きたいです。遠隔教育によって日本の離島や、モンゴルの地方など、世界中の様々な境遇にある子どもたちが楽しく勉強し、私のように好きなものやことに全力で向き合える未来とその機会を作ることが目標です。



流
の
場

地球だより

News from the earth



奇跡の国 ルワンダ

JICA海外協力隊

あじま ひろたか
安島 博堂

皆さんはじめまして、私は2021年8月よりJICA海外協力隊員として東アフリカに位置するルワンダという国に派遣されています。首都キガリから南へ車で約3時間の地方都市ニャンザにある職業訓練校で自動車整備の講師をしています。ルワンダを走る自動車の大半は中古の日本車で、またそれらは日本から直接輸入されるのではなく、他国で使い古された「中古車の中古車」がほとんどです。当然ながら状態の悪い車が多く、現地の自動車整備士の正しい整備技術の習得が急務となっています。

ルワンダは、天然資源に恵まれず、内陸国であるため製造業には不向きと言われていました。そのため、情報通信技術や科学技術に力を入れており、順調に経済成長しています。その目覚ましい発展は「アフリカの奇跡」とも言われています。「ルワンダ」と聞くと1994年に起きた大虐殺(ジェノサイド)を連想する方も多くかと思えます。その年、内戦中に起きた大虐殺(ジェノサイド)では、80万人以上が命を落としたと言われています。現在では、このような悲しい出来事を教訓に、人々は一致団結して国づくりに取り組んでおり、順調な経済成長のほか、治安が良いことでも知られています。

また、「ウムガンダ」という奉仕活動があることでも有名です。毎月最終土曜日の午前中は商店が閉じられ、交通機関もストップし、全国民総出でゴミ拾いや道路の保全などの奉仕活動を行います。おかげできれいで気持ちの良い街並みが整備されており、外国人観光客からの評価も高くなっています。

このように成長を続けているルワンダ。それに伴い人の移動やトラックによる物資の輸送など、交通機関の需要もますます高まっています。そんな中で少しでも効率的で正しい自動車整備技術を伝えていけるよう、残りの任期を努めていきたいと思えます。



日本のバスが並び首都キガリのバスターミナル



授業の様子

JICA海外協力隊秋募集がまもなく開始します

JICA海外協力隊に関する相談や質問などは、JICA茨城デスクにて随時受付中です。
【問合せ先】JICA茨城デスク 新井 メール：jicadpd-desk-ibaraken@jica.go.jp



県だより



台湾で茨城県の食と観光をPRする 大規模プロモーションを実施しています!

茨城県営業戦略部国際観光課 係長 佐藤 尚之

茨城県では、食品の輸入規制が緩和された台湾に向けての県産品の輸出拡大やコロナ後の観光誘客などを目的として、過去最大規模のプロモーションを8月1日(月)から本格的に実施しています。

プロモーションの宣伝大使には、台湾で生まれ、茨城県で育った渡辺直美さんが就任。ルーツである台湾と茨城県の「懸け橋」となって、広告媒体や特設ウェブサイト、SNSなどを通じて、台湾の方々に向け「新しい日本の目的地茨城」をPRしていただいています。

また、茨城県のパワースポット等と食を「開運」のコンセプトで紹介する特設ウェブサイト「開運茨城」を8月1日(月)に開設し、台北の中心街を「開運茨城」で埋め尽くすジャック広告を同日からの1ヶ月間実施しました。広告を見た現地の台湾の皆様からは、「こんなに明るくて目立つ広告見たことがない」、「茨城に美味しいものを食べに行きたい」など好評をいただきました。

このほか、8月には台北市内の高級スーパーマーケットにおける県産品テスト販売や「2022台湾美食展」への出展、観光商談会の開催など、多方面からのアプローチを同時期に行い、「新しい日本の目的地」として茨城県の認知度向上を図ってまいりました。

今後も現地飲食店における県産品を活用したメニューフェアや「台北国際旅行博2022」への出展、本県見本市の開催など、茨城の食と観光をPRする切れ目のないプロモーションを展開することで、台湾の皆様が茨城県のファンになっていただき、今後の県産品の輸出拡大や観光誘客につなげていければと考えております。



台北市西門町の様子



台北市信義区の様子



台湾美食展の茨城ブースの様子

for you...

第32回外国人による日本語スピーチコンテスト発表者を募集します！

令和5年2月18日(土) 13:00~16:30、ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホールにて開催予定の「第32回外国人による日本語スピーチコンテスト」の外国人発表者を募集します。県内で生活している外国人の皆さんが、日頃考えていることや、日本・茨城の印象、母国の話など国際理解を深めるテーマについて発表できる絶好のチャンスです。出場者全員に豪華賞品を用意しております。たくさんの方々のご応募をお待ちしております。(締切12月12日(月)必着)応募方法は協会ホームページをご覧ください。



「外国人のための一日無料弁護士相談」のお知らせ

筑西市において外国人対象の休日無料弁護士相談を実施いたします。日本語以外での相談の場合、下記の10言語の通訳が可能ですので、母国語で弁護士に相談したい外国人の方はぜひこの機会をご利用ください。

【筑西市】

- ・日時：令和4年11月6日(日) 10:00~15:00(受付14:30まで)
- ・場所：しもだて地域交流センター「アルテリオ」(筑西市丙372番地)

相談内容

在留資格、労働問題、結婚、税金、保険、その他生活全般
※相談無料、秘密厳守、通訳付き

対応言語

日本語、英語、中国語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語、韓国語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、シンハラ語
※その他の言語は翻訳機等に対応

問合せ先

(公財)茨城県国際交流協会 外国人相談センター
TEL：029-244-3811 FAX：029-241-7611
E-mail：iia_consul@ia-ibaraki.or.jp

ホストファミリーを募集しています！

ホームステイを希望する外国からのゲストを温かく受け入れてくださるホストファミリーを通年で募集しています。ご家庭で国際交流をしてみませんか。

詳しくは
当協会ホームページを
ご覧ください。



賛助会員を募集しています！

当協会では、茨城県に在住する外国人の皆様が安心して生活できるように、多言語による相談事業や情報提供などを実施し、外国人の皆様にも住みよい地域づくりに努めています。また、より多くの県民の皆様が外国の方々と交流し相互理解を深める機会を提供するために、留学生や在住外国人の方々、交流団体の皆様と連携し、様々な交流事業も展開しています。

皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けて参りたいと存じますので、賛助会員へご加入いただき、お力添えください。

会員になると、機関紙「ふれあい茨城」の送付、各種イベント等情報の提供、協会施設の優先利用、提携旅行社の割引などの特典があります。

また、賛助会員は、公益法人への寄付として申告により所得税や法人税の優遇措置の適用を受けることができます。

皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

賛助会費	団体会員	1口 10,000円(1口以上)
	個人会員	1口 3,000円(1口以上)

※賛助会特典、税金の優遇措置の詳細については、当協会HPをご覧ください。



●令和4年度 団体賛助会員 (令和4年7月末現在)※敬称略

- | | | |
|----------------------|------------------|-------------------|
| 石岡商工会議所 | 鹿島都市開発 株式会社 | 日本原子力発電 株式会社 |
| 「茨城アジア教育基金」を支える会 | 鹿島埠頭 株式会社 | 東海事業本部 地域共生部 |
| いばらき印刷 株式会社 | 鹿島臨海通運株式会社 | 日本語学校つくばスマイル |
| 一般社団法人 茨城県医師会 | 鹿島臨海鉄道株式会社 | 日本労働組合総連合会 茨城県連合会 |
| 公益財団法人 茨城県開発公社 | 北茨城国際交流会 | ヌーベルアージュ株式会社 |
| 茨城県火災共済協同組合 | 株式会社 光和印刷 | ヌーベルキャリア株式会社 |
| 茨城県行政書士会 | 古河市国際交流協会 | ヌーベルメディア株式会社 |
| 一般社団法人 茨城県経営者協会 | 国際ソロプチミストつくば | ハン サラン |
| 一般財団法人 茨城県建設技術管理センター | コトブキ印刷 株式会社 | 常陸大宮市国際交流協会 |
| 一般財団法人 茨城県建設技術公社 | JA茨城県中央会 | 日立商工会議所 |
| 茨城県市長会 | 下館商工会議所 | 広沢商事 株式会社 |
| 社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 | 株式会社 常陽銀行 | ふじの会 |
| 茨城県商工会議所連合会 | 常陽トータルサービス 株式会社 | フレンドリーあんず |
| 茨城県商工会連合会 | 昭和建設 株式会社 | フレンドリージャパンワールド |
| 茨城県信用組合 | 鈴縫工業 株式会社 | 水戸内原国際交流ふれあいの会 |
| 茨城県信用保証協会 | 関野商事 株式会社 | 水戸商工会議所 |
| 茨城県青年海外協力隊を育てる会 | センター印刷 株式会社 | 水戸信用金庫 |
| 茨城県世界青年 | 株式会社 高野高速印刷 | 水戸ユネスコ協会 |
| コミュニケーションクラブ(WYCCI) | 社会福祉法人 達生堂 城西病院 | メークス 株式会社 |
| 茨城県中小企業団体中央会 | 筑西市国際友好協会 | メサフレンドシップ |
| 茨城県町村会 | 中国美術茨城推進協会 | 株式会社 めがきリース |
| 茨城県日中友好協会 | チョウ サラン | 株式会社 ルックアット |
| 公益社団法人 茨城県薬剤師会 | 株式会社 筑波銀行 | ワタヒキ印刷 株式会社 |
| 株式会社 茨城ポートオーソリティ | 株式会社 つくば研究支援センター | 他1社 計74団体 |
| 株式会社 茨城読売IS | 電機連合茨城地方協議会 | |
| 鹿嶋国際交流JCサークル | 那珂市国際交流協会 | |

皆様のご支援とご協力に
心より感謝申し上げます。

新職員紹介



仙波 美哉子

6月より地域日本語教育推進員として週に3日(水・木・金)勤務しております仙波と申します。茨城県内外で地域日本語教育に取り組んでいらっしゃる皆様、また関係者の皆様のご指導、ご意見を賜りながら、茨城県の地域日本語教育の充実、そして、日本人も外国人も安心して安全に暮らせる地域づくりを目指して、地域日本語教育推進員として精一杯務めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



羽鳥 愛

6月より地域日本語教育推進員として週に3日(月・火・水)勤務しております羽鳥と申します。私はこれまで日本語教師として国内外の日本語学校に勤務し、ボランティアで外国人住民への地域日本語支援、多文化共生のまちづくりに関わって参りました。今回、茨城県の地域日本語教育体制づくりに関わる機会をいただき、大変嬉しく思っています。地域日本語教育を通して外国人、日本人住民の皆様のお役に立てるように努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

Said & Did



新たにフランス語入門講座を開催しました

今夏、高校生と大学生を対象にフランス語入門講座を新規事業として実施しました。

フランス人の茨城県国際交流員が、全6回の講師を務めました。対面開催にもかかわらず、県内各地の学生が参加しました。自己紹介やパン屋で注文することなど実践的なフランス語を教えるとともに、フランスの教育制度、そしてカナダのケベック州や北アフリカのチュニジアなどフランス語圏の地域を紹介することにより、異文化理解を通じて多文化共生社会づくりに参加するきっかけを提供しました。



フランス語入門講座

ネットワーク会議を開催しました

7月15日(金)、県内の市町村、市町村国際交流協会、民間国際交流・協力団体を対象に、研修、相互連携及び情報交換を目的とした令和4年度国際交流・協力ネットワーク会議を3年ぶりの対面(一部オンライン)で開催し、総勢109名の方にご参加いただきました。

午前の基調講演では、NPO青少年自立援助センター定住外国人支援事業部事業責任者の田中宝紀(いき)氏に「海外にルーツを持つ子どもの現状と課題ー誰ひとり取り残さない学びのためにできること」と題し、日本で暮らす海外にルーツをもつ子どもたちが直面している問題や、多くの子どもたちの成長を支えるYSCグローバル・スクールでのご活動、共生社会実現に向けて私たち市民ができることについてお話をいただきました。

午後は、2つの分科会に分かれ、各テーマについて事例発表、講義を行いました。第1分科会は、行政書士、社会福祉士の青柳りつ子氏より、「地域で暮らす外国人市民と一緒によりよい社会をつくるために、事例から学ばー相談知識と支援方法ー」をテーマとして、在留資格や在留カードに関すること、外国人から相談を受けた時にどのように支援したらよいか、事例を交えながら紹介していただき、2つの相談事例を題材としたワークショップを行いました。第2分科会では、「考えよう!未来の地域日本語教室」をテーマに、6月に着任した2名の地域日本語教育推進員がファシリテーターとなり、これからの地域日本語教室をどのようにしていきたいか、日本語支援活動で困っていることをグループごとに話し合い、結果を発表しました。

この会議が、参加した皆さんの今後の活動やネットワークづくりの良い機会となれば幸いです。



ネットワーク会議

第1回クエスト茨城留学生研修を実施しました



第1回クエスト茨城留学生研修
※撮影のため、一時的にマスクを外しています

夏のクエスト茨城留学生研修を、感染対策を徹底した上で7月9日(土)に実施しました。本ツアーは、留学生が茨城県への理解を深め、愛着を持って留学生活を送ることを目的としており、留学生33名が参加しました。

今回はひたちなか市と大洗町を訪問し、醤油店および醤油工場と、アクアワールド茨城県大洗水族館を見学しました。

醤油店では、歴史ある木造の蔵を見学し、醤油の伝統製法について学びました。また併設された店舗では醤油やたれなどの商品を購入したり、名物の醤油ソフトクリームに舌鼓をうったりするなど、日本伝統の醤油文化に親しむことができました。

アクアワールドでは、多種多様な生き物を見たり、ダイナミックなイルカショーを見たりして楽しみました。広大な海の景色も楽しみながら、充実した時間を過ごしました。

バスツアーを通して、今まで知らなかった茨城の一面を知ったり、他の学校の留学生と交流したりと、実りある一日を過ごすことができました。

春期世界文化セミナーを実施しました

異文化理解のため、毎回様々な国籍の講師を迎え、それぞれの母国の話を英語で聴き、英語でディスカッションや質疑応答を交えながら授業が進められました。今回は久しぶりに午後クラスを対面、夕方クラスをオンラインで開催し、たくさんの方にご参加いただきました。



世界文化セミナー

特に参加者が興味を引いたのは「22年フランス大統領選挙」と「イングランドの南北分断」についてで、今春に行われたフランス大統領選挙の候補者の綱領に反映されているエネルギー問題や移民問題という現代フランスの課題、そしてイングランドにおける極端な社会経済的かつ文化的な南北分断などが話題として取り上げられました。

シンハラ語(スリランカ)相談スタート!

今年度、外国人相談センターの多言語相談に、新しくシンハラ語が追加されました。日常生活で困っていることや知りたいことについてシンハラ語で相談できます。料金は無料、秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

●シンハラ語相談日時

毎週金曜日(祝日を除く) 13:30~17:00

●相談専用電話 029-244-3811

※外国人相談センターの対応言語は以下の通りです。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
日本語・英語・その他				
ベトナム語	韓国語	ベトナム語	タガログ語	タイ語
中国語	スペイン語	タイ語	ポルトガル語	シンハラ語
13:30~17:00		中国語	インドネシア語	13:30~17:00

●受付時間

月曜~金曜(祝日及び年末年始を除く) 午前8時30分~午後5時